

## 令和5年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

魅力があって、信頼される堺聴覚支援学校  
～ 創立70周年へ向けて 子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの構築 ～

個々の幼児児童生徒の障がいと学習状況に応じて豊かな言語力と生きる力を育むために、幼稚部・小学部・中学部の一貫した専門的支援を実施する。  
さらには、地域と連携・協働した特色ある教育活動のさらなる推進と大阪府南部における聴覚障がい教育のセンター的役割の推進を通して地域に貢献する学校づくりを推進する。

- 1 子ども・教職員全員の人権尊重の理念の深い理解と、安全・安心で地域に開かれた学校づくりの推進。
- 2 特色ある教育内容の充実と、確かな学力の育成。
- 3 支援教育の専門性の向上と継承。
- 4 聴覚障がい教育のセンター的機能の充実。
- 5 校務の効率化による働き方改革の推進。

## 2 中期的目標

## 1 地域に開かれた安全・安心な学校づくりの推進

- (1) 豊かな人権感覚・人権意識を基盤とした教育実践を組織的に進め、自尊感情豊かな子どもの育ちを支える。
- (2) 地域と連携した防災・防犯体制を充実する。
- (3) 外部の専門人材等とさらなる連携を図り学校保健や食育、学校安全の取組みを進める。
- (4) 学校ホームページ等による情報発信の充実を図る。

※ (1)～(4)の取組みにより、学校教育自己診断の保護者の満足度(いじめ、安全安心、情報発信等)を令和7年度までに95%以上にする。

(R2=91.7%, R3=88.8%, R4=90.5%)

## 2 確かな学力の育成

- (1) 将来の自己実現を見据えたキャリア教育に取組み、自主・自立する力を育む。
- (2) 特色ある教育活動を推進し、確かな学力を育てる。

※ (1)(2)の取組みにより、令和7年度まで学校教育自己診断の子どもの学校生活での満足度(学校行事、環境整備、進路等)90%以上を継続。

(R2=83.7%, R3=90.9, R4=92.7%)

## 3 支援教育の専門性の向上

- (1) 聴覚障がい教育の専門性のさらなる向上のための研究・研修の充実を図る。
- (2) 聴覚障がい以外の特性についての理解を深める。

※ (1)(2)の取組みにより、令和7年度までに学校教育自己診断の子どもの学びの満足度(授業のわかりやすさ、質問のしやすさ、ICTの活用)を

95%以上にする。(R2=92.2%, R3=93.8%, R4=93.7%)

## 4 聴覚障がい教育のセンター的機能の充実

- (1) 聴覚障がい児に対する早期からの一貫した支援の充実を図る。
- (2) 通級による指導で学習効果を上げ、児童生徒の自信と意欲を向上させる。
- (3) 小学校等からの聞こえや言葉に関わる多様な相談に対し、適切な支援を実施する。
- (4) 支援教育地域支援整備事業における南大阪地域の各ブロックとの連携を強化し、地域の支援教育の充実に貢献する。

※ (1)～(4)の取組みにより、令和7年度まで学校教育自己診断の地域支援の満足度(通級指導、研修会、支援業務等)95%以上を継続する。

(R2=100%, R3=-%, R4=100%)

## 5 校務の効率化による働き方改革の推進

※ 5の取組みにより、令和7年度までに教職員の時間外勤務の平均を20時間(月平均)にする。(R2=22.9H, R3=25.8H, R4=27.1H)

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年11月実施]	学校運営協議会からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1回学校運営協議会 (令和5年〇月〇日実施予定)</li> <li>● 第2回学校運営協議会 (令和5年〇月〇日実施予定)</li> <li>● 第3回学校運営協議会 (令和6年〇月〇日実施予定)</li> </ul>



## 府立堺聴覚支援学校

5 校務の効率化による働き方改革の推進	(1) 校務の効率化による働き方改革の推進	(1) 安全衛生委員会を中心に、業務の見直しについて検証する。	(1) ア 毎週水曜日の定時退庁の完全実施 イ 各学部、年間を通し1項目以上の業務内容を簡素化または削減する。 ウ 時間外勤務について月平均 25H 以下 [27. 1H]	
------------------------	-----------------------	---------------------------------	---	--